

■マイクロシミュレーションの活用

【マイクロシミュレーションの機能】

マイクロシミュレーションの主な機能は以下の2つです。

- 「車両の動き」をモデル化する機能
- 「時間の推移に伴う変動」を表現する機能

つまり、空間（交差点形状等）と時間（リアルタイム）の変化を再現・予測することができます。

車両の動きをアニメーションで確認することが可能で、渋滞発生
の状況等をリアルタイムに確認することができます。

【マイクロシミュレーションの活用シーン】

マイクロシミュレーションを使えば、交通現象をありのままに再現
することができることから、様々なシーンでの活用が期待できます。

●道路の“部分改良”や“運用の工夫”による効果の確認

交差点改良や信号現示パターンの変更等の対策を直接反映させて
効果を検証することができます。部分改良や運用の工夫など、局
所的な対策に対する評価に有効です。

●“協議ツール”としての活用

渋滞の状況や対策の効果アニメーションとして確認することが
できるため、結果に対する理解や納得が得やすく、関係者間や住民
説明などへの活用が期待されます。

また、ワークショップやアンケート調査などで住民から提案された
施策をシミュレーションし効果を確認するなど、住民参加型
で道路整備計画などを検討していく際に活用していくことも考
えられます。

